

# スローテンポ通信

第 22 号

2018年11月30日

発行：一般社団法人スローテンポ協会  
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール [usagimokamemo@gmail.com](mailto:usagimokamemo@gmail.com)

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## 本はプレゼントに 最適です！

最適なプレゼントとはなんでしょう。

お正月に孫や子供にお年玉をあげるのが慣わしになっています。おカネをもらってうれしくない人はいませんから、おカネは最も無難なプレゼントかもしれません。

お中元やお歳暮は、企業や親戚などの間で「今後も末長くお付き合いください」という願いを込め贈られます。それが儀礼やしきたりになって縛られると、無難で後腐れない品を選ぶようになります。会社の上司に贈る義理チョコも同じです。

子や孫、友人にプレゼントするときは、もらってうれしいものや自分の思いがこもったものを探し求めます。相手が喜んで後々まで大切にしてくれるなら、贈ったほうもうれしくなります。

そういうプレゼントがなかなか見つからないから、お正月などでいざプレゼントをしようと思ったときに、テレビの宣伝にのせられたり、無難な定番になってしまいがちです。

何をプレゼントしようかと悩む人たちに、本をおすすめします。

私の子ども時代は、村には小さな生活用品店と魚屋さんしかなかったもので、本屋で本を見ることはありませんでした。

だから、町勤めの父がときどき買って来てくれた本が、まるで宝物のようでも夢中になって読んでいました。それが絵がきれいな本や童話だったので、私は絵が好きになったのかもしれませんが、後にデザイン関連の仕事に就きました。

友人にも本の思い出を聞いてみました。本好きの母親が、鉄道図鑑や動物図鑑、植物図鑑をよく買ってくれたそうです。それで彼は物知りになり、後にデパートに勤めたときに、知識がいつも自分を助けてくれたと言っています。

本をプレゼントするにも、本を選ばなければなりません。いい本を贈れば、読む人の人生を変えることだってあります。

親が息子、娘に面と向かって言わずらいことも、本をプレゼントすることによって伝えることができます。孫のためには

「こんな人に育ってもらいたい」という願いを本に込めることもできます。

悩める友人には、自分の人間形成に大きな影響を与えてくれた本を贈って、なんとか難題を克服して飛躍してほしいという願いを込めることもできます。

私は、子育て中の姪や甥のために、お正月は本をプレゼントします。『はなそうよ！恋とエッチ』です。私自身が一目ぼれした本です。

この本は、小学校から高校までの8人の保健室の先生たちが、生徒たちの悩みを丁寧にひろいあげ、一生懸命話し合っただけでつくられました。

いろんな人に読んでもらえるように工夫してあります。本を読むのが苦手な人のために、難しい言葉や漢字を使わないページをつくらせたり、図を使って分かりやすく説明したりしています。

もともと「卒業生へのおくりもの」としてつくられた本ですが、学校の保健室や保健の授業に利用するもよし、思春期の性の問題に関わる全ての子どもや大人におすすめです。

私は特に子育て中のファミリーにおすすめします。低学年から高校生まで、とかく秘密にしがちな性の話題をこの本を通して、大人と子どもが一緒になって話し合っただけでいいと思うからです。

そうすることで、知識がないために妊娠してしまい一人で悩み苦しむような少女がなくなるように、あるいは、誰にも言えずに性器の変化に一人で悩み不安に追い込まれている少年少女を救うために、大いに役に立つと思うのです。

本を受け取った甥や姪たちが、どんな感想を言ってくれるでしょう。昔と違って、核家族化してしまったので、お正月に会えるかどうかわかりません。

私が贈った本を読んで、親子で話し合ったりいつか役に立ち、私の顔を思い出してくれたりしたらいいなあ、とわくわくしています。(文章教室で生まれた作品です) 文;いつか七味唐辛子

## 何でも話せる 懇話会

思いを人に話すだけで、元気になります。どなたでも参加できます。  
水曜日午後7時～9時、参加費無料。

いま注目の本屋  
**スローテンポ書店**  
営業：火～土 13時～19時



年末年始12月28日～1月7日

お休みです

どんな本をプレゼントするか  
一緒に考えます。

### ☆ 孫へのプレゼントに おすすめの本

#### ① 『はなそうよ！恋とエッチ』

すぎむらなおみ+えすけん

生活書院 2014年 2000円+税

保健室の先生たちが、からだと性を図とエッセーでわかりやすく説明した。生徒、児童たちが生き方を学んでほしいとの願いが込められている。

#### ② 『おいべっさん』

竹内紘子作 中川洋典絵

解放出版社 2012年 1400円+税

小学5年生の主人公が、山に住むおばあちゃんに一人で会いに行き、そこでの出会いと事件によって一段と成長する物語。



### 正しく伝えるための 文章教室

毎週木曜日午後7時～9時、

参加費は資料代含めて、1回500円。

参加随時、お問い合わせは当協会まで。